

登米懐古館  
TOYOMA KAIKOKAN

登米懐古館 企画展

# 武家STYLE

— 装いに宿る用と美 —



錦欄直垂  
館蔵（後期展示）

2026



3.7(土) > 6.28(日)

前期 3.7(土) > 5.6(水)

後期 5.9(土) > 6.28(日)

5月7日(木)・8日(金)は展示替えのため企画展示室を閉室します。

登米懐古館 HP



観覧料金/大人 400円 高校生 300円 小・中学生 200円

開館時間/9:00~16:30 お問い合わせ/0220-52-3578

右上：鶴形一本簪 登米伊達文庫蔵（通期展示）

左中：黒馬図目貫 登米伊達文庫蔵（後期展示）

背景：鶴丸紋肩衣（部分）館蔵（前期展示）

丸に三つ柏紋陣羽織  
館蔵（前期展示）



# 武家STYLE — 装いに宿る用と美 —

武家の服飾には、美しさや格式だけでなく、戦いや日常の動きを妨げない機能が織り込まれていました。また、場面に応じた衣服の着分けはもちろんのこと、文様や形の背後には古来より紡がれた願いや意味がありました。

本展では、当館が収蔵する登米伊達家ゆかりの衣服・武具・装飾品を中心に、近世武家の「装いのSTYLE」をご紹介します。実物を間近でご覧になりながら、武家ならではの合理性と美意識に裏打ちされた服飾文化を実感していただけるような場としました。現代の服飾との違いはもちろん、共通点も見つかるかもしれません。

本展が武家の服飾文化のみならず、私たち自身の文化を見つめ直すきっかけになるとともに、江戸時代の登米の歴史に親しんでいただく機会となりましたら幸いです。



伝 白石宗実  
着用

かたぎぬ  
鶴丸紋肩衣  
館蔵 (前期展示)



登米伊達家  
家臣の家に  
伝わる品

丸に右三つ巴紋陣羽織  
館蔵 (後期展示)



くら  
鞍  
館蔵 (後期展示)



あふみ  
鏡  
館蔵 (後期展示)

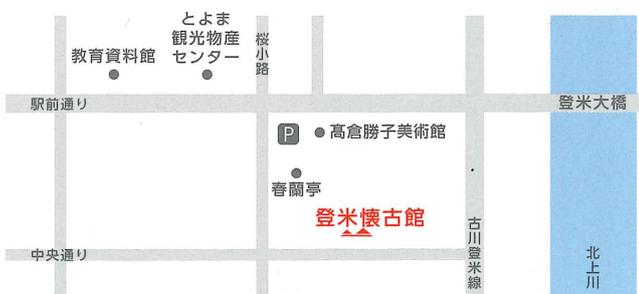


登米伊達家家臣の  
家に伝わる品



登米伊達家  
くにのり  
13代邦教の  
夫人使用

籠付き巾着  
登米伊達文庫蔵 (前期展示)



かんざし  
竹に雀紋簪  
登米伊達文庫蔵 (通期展示)